

R. Z. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私は大学入学前から英語のスキルアップはもちろん、海外の大学で勉強してみたいと考えていました。せっかく留学をするならば、多国籍な環境の方がより世界中の文化に触れることができると感じ、オーストラリアの Griffith 大学を志望しました。Griffith 大学はネイサンやゴールドコーストなど様々な場所にキャンパスを有しているのですが、ネイサンキャンパスの方が留学生はたくさんいるという話を聞き、そちらで授業を受けることにしました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

授業やボランティアなどに積極的に参加し、日ごろから英語を使うように心掛けました。また、単語力や速読の力を養うために BBC などのオンライン記事を毎日 1 つは読んでいました。

英語の勉強に使用していた本やサイト

- ・ The Guardian: [News, sport and opinion from the Guardian's UK edition | The Guardian](#)
- ・ BBC: [BBC - Homepage](#)
- ・ 『実践 IELTS 英単語 3500 改訂版』 内宮慶一, 吉塚弘 共著
- ・ Academic Phrasebook: [Academic Phrasebank | Explaining causality \(manchester.ac.uk\)](#)

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

Netflix のアメリカンドラマを字幕なしで理解できるようになるまで何度も観ました。知らない単語や表現が出てきたら常にメモを取り、覚えるようにしていました。

また、現地ではエッセイをたくさん書くだらうと思ったので、英語でのエッセイに書き方についてインターネットの情報を参考に勉強していました。

◆ ビザ申請方法

ビザは出国 1 か月頃にオーストラリア政府のサイトからオンラインで申請しました。申請する際、入国理由を示すエッセイを提出する必要がありました。他にも、渡航歴や残高を記入する欄もあり、ある程度時間的な余裕を持って申請する必要があるなと感じました。

◆ その他

オーストラリアの文化や生活様式などをインターネットで調べ、現地でのマナーやルール

を学んでおきました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

空港から寮までは、タクシーで 40 分ほどかかりました。ウーバーや 13CABS というタクシーのアプリを事前にインストールしておく、移動がスムーズにできると思います。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

オリエンテーション期間中はとにかくたくさんのイベントに参加し、現地で相談できる友人をつくるようにしました。オリエンテーションは自由参加でしたが、大学では色々なイベントを開催しているので、生活に慣れるためにもできるだけ積極的に参加することをお勧めします。

◆ その他必要な諸手続き方法

一学期間の滞在だったので、口座は開設しませんでした。寮費や教科書等はすべて日本のクレジットカードで支払うことができました。現地到着前に当面の生活費をオーストラリアドルに両替したのですが、オーストラリアではクレジットカード払いが主流だったので必要ありませんでした。スーパーや大学の購買など、現金が使えない場所も多くあるので、クレジットカードをお持ちでない方は現地到着前に準備しておくことをお勧めします。

⑤ 語学研修期間

語学研修なし

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

自然が本当に豊かで、日本では見たことが無いような動物や虫がたくさんいました。夏は大変暑いですが、風が気持ち良いので外のベンチで勉強をしている人もたくさんいました。

◆ 履修科目について

・ 1002PSY Introduction to Psychology 2

この授業では、心理学の理論や実験方法について学びました。週に 2~3 回あるクラスでは、クラスメイトとディスカッションを行ったり、実際に心理学の実験をしたりしました。学期末には学んだ知識についてのテストがあるため、普段からかなり教科書を読み込んで内容を暗記しておく必要がありました。また、テストとは別にエッセイを書く課題もあり、先生にこまめに質問をしてエッセイの方向性を確認するようしていました。

・ 1001GIR International Relations

授業では、国際関係学の基本的な知識についてディスカッションを交えて学びました。教科書はもちろん、授業内でのディスカッションのレベルがかなり高く、エッセイのテーマも難しかったです。課題の一つであるエッセイでは、教科書や論文を参考に自分の意見を論理的に書くことが求められます。ディスカッションが好きな方にはおすすめの授業です。

・2004MKT Consumer Psychology

消費者がどのようなプロセスを経て商品を購入するのかについて、グループ課題やディスカッションを通して学びます。また、テストやエッセイなどの課題もあったため、教科書の内容を覚えるだけではなく、きちんと内容を理解したうえで商品やブランドについて分析する必要がありました。多国籍な環境で、グループワークをしてみたい方におすすめです。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

日本文化を学ぶクラブがありましたが、授業の関係上入部できませんでした。あまり大きなクラブや団体は無く、空きコマや授業後はジムに行く人が多かったです。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 語学研修期間

語学研修無し

◆ 正規科目履修期間

私は学生寮に滞在していました。キッチンやトイレ、シャワールームは8人が共有で利用していましたが、寝室は一人部屋でした。寮生活はルームメイトがどんな人かによって過ごしやすいかどうかが決まると思います。私の場合、隣人が早朝からアラームを何時間も鳴らしたり、夜中まで映画をずっと観ていたりとかなりうるさかったです。また、掃除の当番を守らない人や勝手に食べ物等を盗む人がいましたが、寮のオフィスに相談しても対応してもらえないため、勉強に集中したい方はホームステイ等をお勧めします。

⑨ 長期休暇の過ごし方

年末年始の休暇は一度日本に帰国しました。課題や授業は基本オンラインなので、日本からでも受講できました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

OGの方からアドバイスをいただき、留学中で頑張ったことや強みを生かすことができたエピソードなどをまとめていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

ルームメイトと一緒にブリスベンの市庁舎にあるクリスマスツリーを見に行ったことが一番の思い出です。夜遅くの時間帯でしたが比較的治安も良く、安心してクリスマスのイルミネーションを楽しむことができました。また、消費者心理学の授業でグループ課題のリーダーを務めることができたことも良い経験となりました。私達のチームはいろいろな国から来た留学生で構成されていたため、最初はコミュニケーションがうまく図れませんでした。しかし、最後はチームで協力して良い成績を残すことができ、やりがいを感じました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学中に一番つらかったのは、寮の環境です。隣人の騒音が酷かったり、ベッドの上にアリやクモがいたり、ストレスを感じる時も多々ありました。また、インフルエンザに罹ったのと同時に私の買っていた食べ物が大量に盗まれたこともあります。寮内はハウスダスト等がひどく、咳が止まらなくなったので、アレルギーがある方は気をつけてください。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

他民族国家であるため一概には言えませんが、オーストラリアには自由でのんびりしている人が多いという印象を受けました。日本とは異なる個人的な考え方や時間の感覚を受け入れることができる人は、オーストラリアで楽しい生活を送ることができると思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス**① 留学先大学の良かった点、悪かった点**

良かった点は、授業内でディスカッションやディベートが多かったことです。日本とは異なる学生や先生が自分の意見を言い合う授業スタイルは、とても勉強になりました。困った点は大学の対応がいつも遅いことです。学生ビザや寮について分からないことがあり大学にメールを送ったとしても、何日も返ってこないことが多々ありました。また、スタッフによって異なることを言われたり、たらい回しにされたりすることも普通でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

課題や配布物は全てオンラインであったため、日本からパソコンを持って行きました。オーストラリアでは日本食は簡単に手に入りますが、高額なので現地でも日本食が食べたい方はある程度持っていくことをお勧めします。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前よりも、細かい英語の文法や発音を気にすることなく自分の意見を言えるようになったと感じています。最初は、それぞれの授業で手を挙げて発言できるように毎日何時間もかけてノートをつくったりしていました。しかし、ある授業で先生に「教科書の英語ではなく、あなたの英語を話さない」というアドバイスを頂き、そこから間違いは気にせず、積極的に自分の思っていることや知っていることを話すようにしました。留学後には、英語のスピーキング力が伸びたのはもちろん、自分に自信ができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

これから留学をしたいと考えている皆さんの中には、責任感が強く、自分一人で解決しようとする方もいるのではないかと思います。しかし、慣れていない海外での生活で、一人ですべてを抱え込もうとすると、せつかくの留学も楽しむことができなくなります。困ったことが起きたらできるだけはやく同じ環境にいる友人等に相談するようにしてください。皆さんの留学が人生を彩る素敵なものになりますよう祈っています。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

将来は環境事業に関わり、世界の人々の生活基盤を支えたいと考えています。

V. 写真



ネイサンキャンパスの様子



ブリスベンのシティーでみたクリスマスツリー